

まつもとてい便り

第16号

2014.1.11

運営 金沢北健康友の会

金沢市京町 3-37 251-6112

人権を大切に、「食べる」「つながる」

まつもとていの運動の広がり

代表 藤牧 渡

この一年間、3周年を記念して「レストランわたや」をオープンさせるために、NPO法人たすけ愛に参加することを決めて空き家を借り、寒の2月から改修工事を始めました。

完成したレストランの名前は公募で「わたや」と決定し、桜の花が咲く4月6日にお披露目会を行いました。それから9ヶ月が経ちましたが、友の会会員さんはもとより、近くの事業所の方、職員の皆さんから、「安くて美味しい」と評判を頂き、今や無くてはならない食事処となっています。



出発点となった「まつもとてい」は、これまで通り「生きがいを見つける場」「交流の場」として、毎回25人前後が利用されています。

「まつもとてい」の活動は広く知られるようになり、「いつでも元気」2014年1月号には、「安心して住みつけられるまちづくり⑬」として紹介されました。そこには、住む場所もなくお金が底をついた山本さんが、わたやの活動を通して「生きる希望」を見つけ、正社員として働くようになった感動の言葉が載っています。

一方昨年8月、政府は生活保護を「いけにえ」として、マスコミを動員したバッシングの上に、保護基準を3年間に渡って引き下げるという、前代未聞の仕打ちを行ってきました。これには「我慢できない」と全国で1万人を超える人（まつもとてい関係でも20数人）が「不服審査請求」を集団で行い、今年も運動が続けられます。私たちも、城北病院相談室や北陸支援ネットの弁護士たちの協力を得て、毎月学習を重ね、反撃の運動を広げようと考えています。

人はそれぞれ、いろいろな過去と事情がありますが、今は一人暮らしが多くても、「まつもとてい」を通してつながりを広げることによって生きる希望と自分の役割を發揮できる場所を見つけようと努力しています。そのことが、民医連に働く職員の心に共感を呼び、友の会をより身近なものに感じて頂いているのだと思います。

多くの皆さんから支援物資や差し入れを頂いています。本当に有難うございます。「洗濯機が欲しい」「布団がないか」と、支援物資を求める人もいます。財政を支える為に、古本回収なども計画していますが、これからも皆さんから遠慮なく応援を頂いて、運営していきたいと思っておりますので、引き続きご支援下さい。

12月の「まつもとていサロン」

映画会・簡単料理・もちつき・クリスマスなど、いろいろな行事がありました。

4日は農民連から購入した「もち米」を使って「もちつき」を行いました。蒸したもち米を、これも頂いた「もちっこ」で30分程かけてついて、藤牧農園で収穫した大根おろしで食べました。のどにつかえないように、小さくこしらえて、ゆっくり食べようと声をかけながら、楽しんで食べました。「お腹いっぱいになった」「美味しかった」と満足でした。



11日は映画「北のカナリヤたち」（吉永小百合主演）を楽しみました。

13日は簡単料理パート6「おでん」に挑戦しました。木越の北野さんの畑から頂いてきた大根を使用しましたが、「いい味が出て美味かった」とお腹いっぱいでした。

25日には、昌永町の西田さんの協力で、赤飯を炊いて食べました。小豆は西田さんが畑で育てたものです。



まつもとていサロン 1月～2月の予定

- | | | | | |
|----|--------|--------|----------|-----------------------|
| 1月 | 4日(土) | 新年会 | 11時～午後2時 | わたや |
| | 8日(水) | サロン | | |
| | 15日(水) | サロン | 午後1時～ | 議会報告会(佐藤県議・森尾市議) |
| | 21日(火) | 午後 | | 佐世保健康友の会からの見学団 |
| | 22日(水) | サロン | | |
| | 29日(水) | サロン | 午後1時～ | 学習シリーズNO.9 |
| 2月 | 5日(水) | サロン | | 節分 |
| | 12日(水) | サロン | | |
| | 15日(土) | 午後1時半～ | | 北健康友の会 新春フェスティバル(音楽堂) |
| | 19日(水) | サロン | | |

21日(金) 一人暮らし簡単料理パート7(煮込みうどん)
26日(水) サロン 午後1時~学習シリーズNO.10

レストランわたや

常連さん いらっしゃい!!! シリーズ③



初野 章さん

とにかく美味しいので良く食べに来ます。うちの会社でも何人も来ていると思う。安くてボリュームもあるし有り難い。もうそろそろ定年だけど近い所できて助かります。これからもよろしくお願いします。



寺越博之さん

ここができる前は自宅へ食べに行っていたけど今は天気も悪いし、ここで食べられるので助かる。いろんな人に会えるしいいですね。

ボランティア募集

○朝オープン前の清掃、○オープン前の「お持ち帰り弁当」詰め、○調理場・お運び

活動時間 9時~午後3時

待遇 ボランティア手当+昼食、エプロン貸与

その他 男女・経験問わず

午前中のみ、週1~2回などでも可能

環境ボランティア(玄関や卓上を飾って頂く方)歓迎

詳しくは、レストランスタッフ又は友の会へお問い合わせください。

わたや 253-1180 北健康友の会 251-6112

ギャラリー活用ください

レストランわたや店内の壁を利用して、ギャラリーを設けています。概ね1カ月ほどの期間で、架け替えしたいと考えています。写真・絵画・タペストリーなど、趣味を生かした作品展示をお願いします。わたやフロント又は北健康友の会まで連絡くださ

月刊誌「いつでも元気」1月号に掲載

「まつもとてい」の活動が大きく掲載され、全国5万人の読者に紹介されました。

現物はレストランわたやに掲示してありますが、月380円で為になる記事が満載ですので、この機会に是非購読されることをお勧めします。



食事後の感想より

心温まる感想有難うございます。記入用紙はテーブルに置いてありますので、何回でもいつでもご記入ください。感想・ご意見を受けとめて、皆さんに愛される、気持ちの良いレストランにしていきたいと思えます。(シェフ)

- あたたかい食事がいただけて良いです。
- 野菜を食べる機会が少ないので助かっています。
- ダイエット定食希望！
- 半年に一回くらいのペースで「お魚」の日を入れ替えるのはどうでしょうか。
- メニューが豊富で、わたやができて本当に良かった。
- アットホームな雰囲気が良いと思えます。
- 以前は味付けが濃いとか甘いとか多かったですが、今はずいぶん改善されたと思う。量もちょうど良くなりました。
- いつも美味しく頂いています。私の「いやしの場所」です。
- あと一品、漬物が欲しいです。
- フェイスブックでメニューも見られるので楽しみです。
- 日替わりが売り切れで残念な時がある。
- 仕事の休憩中に食べると、とてもリフレッシュできます。ご飯もお替りできるし嬉しいです。
- メニューがいろいろあって良かった。美味しい！

作品募集

「まつもとてい便り」では、皆さんからの「エッセイ」「詩」「短歌」「川柳」などを募集します。「便り」は隔月発行ですが、いつでも「わたやフロント」又は北健康友の会までお寄せください。

無料・低額診療事業をご存じですか？

～石川勤医協 3 施設で無料低額診療事業を拡大～

城北病院 医療ソーシャルワーカー 川合 優

城北病院、健生クリニック、寺井病院でこれまで実施していた無料低額診療（以下、無低診と略す）ですが、昨年 11 月から新たに城北診療所、城北クリニック、城北歯科が加わり 6 施設に拡大しました。記者会見をおこない新聞記事に載ったこともあり、問い合わせが増えています。知られているようで意外と知らない無低診について紹介します。

無料・低額診療事業は社会福祉法第 2 条 3 項に規定されている「生計困難者のために無料又は低額な料金で診療を行う事業」に基づき実施しており、石川県内では石川勤医協以外にも 4 施設（金沢赤十字病院、済生会金沢病院、聖霊病院、ときわ病院）で無低診を実施しています。無低診の対象となる方の基準については実施している法人で異なりますが、石川勤医協 6 施設での医療費減免の対象となる人の基準は以下の通りです。

- ・収入が生活保護基準（2013 年 4 月時点での基準）の 150%以下の人
- ・住民税非課税の人
- ・その他、所得認定し基準に該当すると判断した人

無低診の相談があった場合はソーシャルワーカーが面接し、生活状況の聞き取りをおこない、申請をするか検討することとなります。昨年度、城北病院での無低診の利用実績は 365 件（延べ人数）でした。ソーシャルワーカーに医療費相談があった患者について、問題解決のためにどのような制度を利用したか調査をしたところ、生活保護制度に続き無低診が 2 番目に利用が多いことがわかりました。それだけ無低診に求められる役割は大きいと言えますが、逆に言えば医療費問題に対して他の社会保障制度が機能していないのです。無低診を利用した事例を紹介します。

① 無低診で命を繋いだ事例

60 代、女性。年金額少なくアルバイトもしていましたが、それでも収入は少なく生活は困窮していました。数年前から胸のしこりに気付いていましたが、医療費の心配あり受診を控えていました。数か月前から咳が止まらなくなり、友人から城北病院を紹介され来院されました。MSW が面接し無低診利用できること説明し、本人も安心され、すぐに診察にまわってもらいました。検査の結果、乳がんが見つかり転移もしている状況で入院することとなりました。入院後、生活保護申請ができたため、それまでの医療費を、無低診利用し医療費支払い免除としました。

② 慢性疾患による医療費負担重く、年金も少ないため支払い困難となった事例

60 代、男性。糖尿病で定期通院していました。50 代半ばで会社解雇になり年金がもらえるまで貯金を崩し生活していました。60 才で年金がもらえるようになりましたが金額が少なく、糖尿病の治療費は月 1 万円かかり、そのうえ国保料、税金が高く生活が苦しい状況でした。ソーシャルワーカーが面接し、市役所に一緒に行き国保料の減免、法外援護など相談しましたが、どの制度も対象とならず、無低診を利用することとなりました。

社会保障の切り捨て、格差の拡大、貧困層の増加が顕著な現代において、無低診に求められる役割は大きくなっており、全国的にも無低診を実施する施設が増えています。しかし、無低診が拡大し、本来機能すべき社会保障制度が縮小されていっては本末転倒です。無低診を通して見えてくる社会保障制度の欠陥に着眼し改善を求める運動こそが重要です。

県知事選挙に木村よしのぶさんが立候補



わたやで食事中的の木村さん

木村さんは、NPO法人たすけ愛副理事長、石川県健康友の会連絡会事務局長として、いつも私たちと一緒に活動している人です。

定年後「自分の手で料理を」と料理を習いに行ったということで、レストランわたやでも、忙しい日程の合い間にボランティアとしてお手伝いして頂きました。

ハンセン病元患者の人権を回復する活動も会長として頑張っているし、城北病院など民医連で医療福祉に精通し、県民の生活がわかる人です。

全国の流れに逆らって、乳幼児医療費の拡充に背を向ける現職知事と対照的です。

志賀原発を始め、全ての原発をなくそうという点でも明確です。友の会として、木村さんの掲げる政策実現のため、皆様のご協力を訴えます。

2014年まつもとてい新年会開かれる

レストランわたやの開店で新たな輪が広がった



1月4日生きがいセンター「まつもとてい」の新年会が、53人が集まってにぎやかに行われました。そのうち、10人以上が今年初めての参加でした。昨年4月からレストラン「わたや」がオープンしたことで、新たなつながりが広がったのです。

食べ物は「わたや」のスタッフが3日から準備し、飲み物は城北病院など民医連の事業所からカンパがありました。NPO法人たすけ愛の木村さんは、3月に行われる知事候補

に決定し、参加者に決意を披露し、盛大な激励の拍手を受けました。

「私も一言」ではマイクを向けられた人が、かわるがわる新年の思いを語りました。

ビンゴゲームは「リーチ」「わしの番号を出せ」と大声が飛び交いましたが、一等会長賞のオードブルセットの他、全員に景品が当たり、大喜びのうちに終わりました。